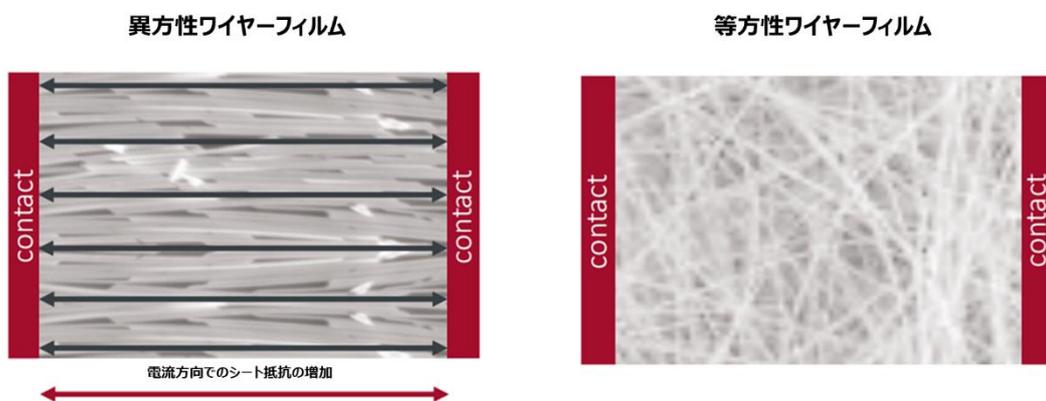


■異方性について

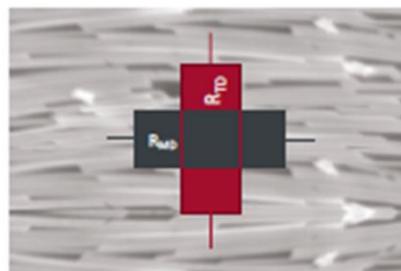


- 電氣的異方性とは、電流の流れる方向によって電気抵抗が異なる性質を指す
- ワイヤーやメッシュ構造は異方性の抵抗を持つことがある
- 支配的な方向性特性や効果、欠陥を持つ材料も電氣的異方性を示すことがある
- 異方性は接触の配置に合わせて最適化することが可能
- 異方性は材料の節約や光学的透明性とシート抵抗の比率を向上させることが可能

$$\text{異方性比率} = \frac{R_{\text{HIGHEST}}}{R_{\text{LOWEST}}}$$



$$\text{異方性比率} = \frac{R_{\text{TD}}}{R_{\text{MD}}}$$



- 異方性の方向と強度で説明される
- 両方の特性は同じ位置で取得する必要がある
- 異方性の強度は、直交する方向に整列した最低および最高の抵抗値で計算される
- インライン成膜（例：動いている試料にスロットダイコーティングを施す）では、機械方向において低い抵抗が、横方向には高い抵抗が生じる傾向がある
- 最低および最高抵抗の比として計算される